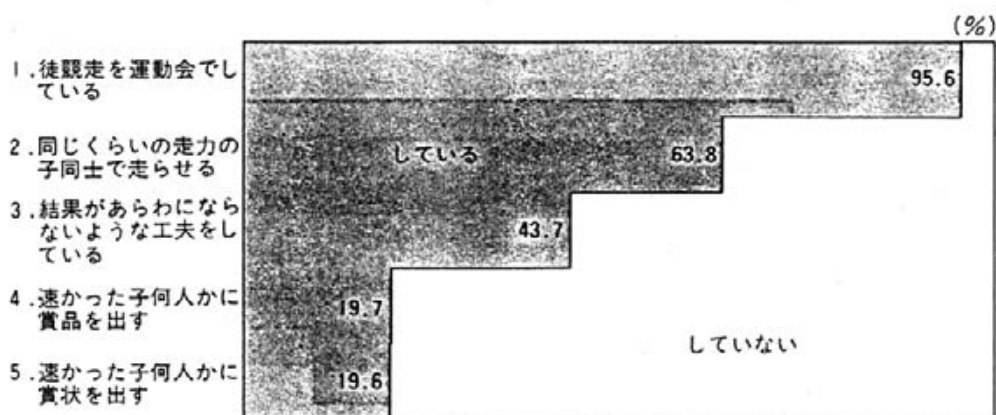


種目実施上の配慮と工夫

まず図14から、徒競走への実施上の配慮を読みとっておこう。さすがに実施率96%と、種目として欠かすことはできないが、「同じくらいの走力の子同士で走らせる」という配慮は64%の学校でしている。そして「速かった子に賞品や賞状を出す」学校は2割と、極めて少なくなっている。走力はそれぞれの子どもに比較的固定化していて、いつもピリに甘んじている子どもにとっては、よほどのことがない限り上位入賞は望めない。したがって、特定の子どもを運動会のヒーローとしてもてはやすのは教育的に問題があるという判断が働いているのだろう。

次に図15には、綱引き、鈴わりなどに代表される団体競技の内容についての工夫の度合いをまとめてある。教師にしてみれば、マンネリになってはいけないといつも頭を悩ませる部分であるが、「伝統的な競技を残そう」とする学校が8割であるのに対して、「新しい内容を開発しよう」と努力するのがそれを上回って、9割という結果である。これは、現場の実情や動向を如実に表すデータと思われる。すなわち、運動会らしい雰囲気盛り上げるためには、やはり伝統的な種目は欠かせない。かといって、それだけだと新鮮味に欠ける。そこで、あれこれと知恵をしぼると

図14 徒競走への配慮



ということなのだろう。こうした実情は、図16や図17からもうかがえる。

運動会の性格を変えるほどの大がかりな修正をするためには、かなりの勇気や英断が必要とされる。したがって、仮りに現行の運動会のあり方に問題があるとしても、それは、

例えば「徒競走への配慮」で見えてきたように、種目の実施方法や形式といった部分的な修正にとどめるという結果になっているのであろう。図18から、端的にそうした傾向が読みとれる。

図15 団体競走の工夫

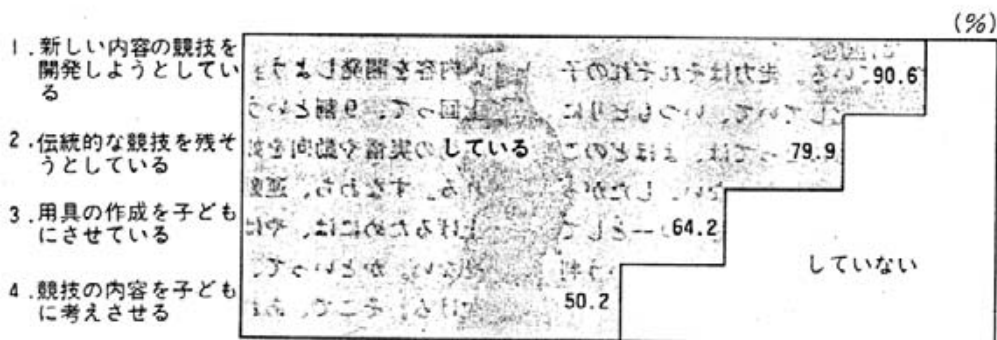


図16 ダンスの工夫

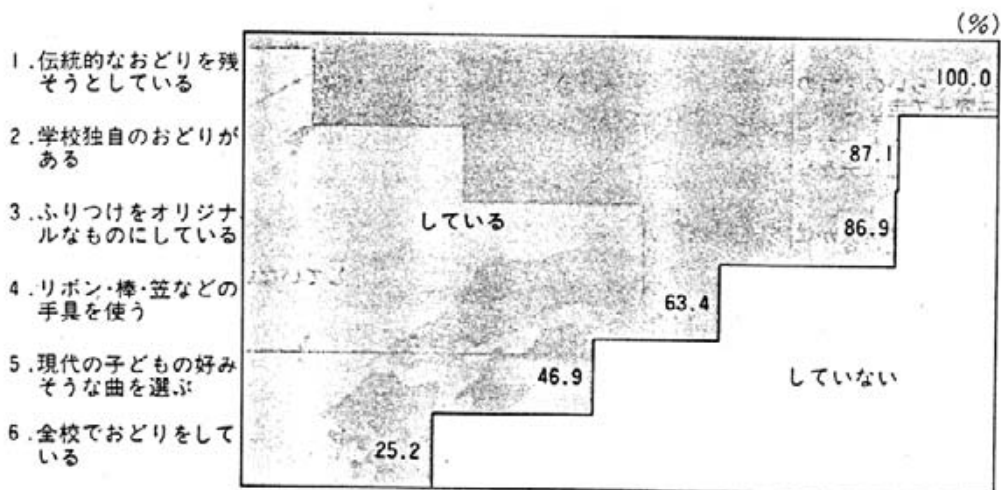


図17 準備運動の工夫

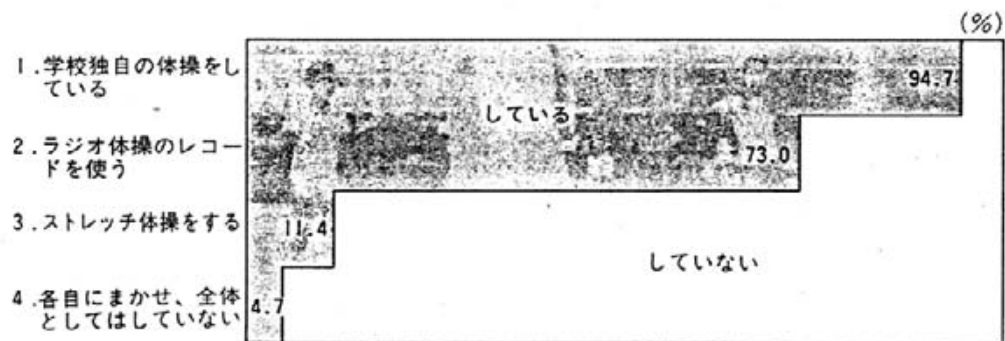
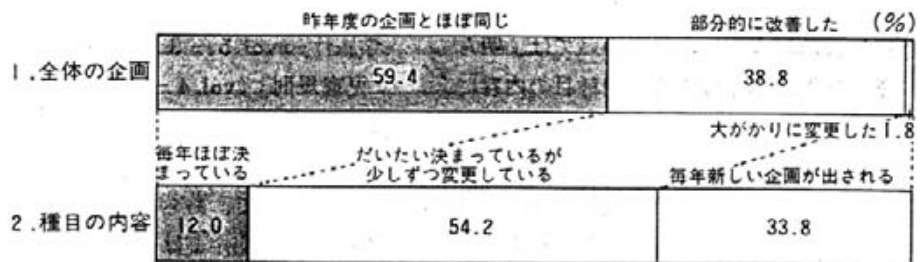


図18 企画にあたって



3. 運動会のもつ意味



運動会の目的

これまでの中で、全国の各地で実施されている運動会のアウトラインについては、明らかにされてきた。進行の仕方や種目の内容については、地方によって多少の違いが見られ、その根底にある教育的意図が異なることが想像される。そこで、運動会を企画する際の目的や配慮事項などについてたずねた結果について考察し、現在の運動会がもつ意味や、今後の方向について考えてみたい。

あらためて何のために運動会を実施するのかと問われても、明快には答えにくい。伝統的に行ってきたからと答える以上に、積極的に教育的意図を込めるといってもいいという実情があるからなのだろう。考えてみれば、学校教育の全体にわたって、この種の行事は案外多い。この『モノグラフ・小学生ナウ』

でもすでにテーマとしてとり上げてきた「修学旅行」(vol.5-3)、「給食」(vol.2-2)、「児童規則」(vol.4-9)などもこの種の問題を感じるが、この運動会も一つの典型といえよう。

したがって、あらためてその教育的な意義を問うという作業は、学校関係者にとって相当シビアな結論に結果することが予想される。しかし、学校や子どもをとり巻く社会的な変化に柔軟に対応するという基本的な命題の前で、やはりこうした作業は避けては通れないと思われる。

まず図19には、用意した6項目について、それぞれの学校での運動会がどのくらいあてはまるかをたずねた結果を示してある。「地域住民の楽しみな行事」とする学校が約6割。そして、「集団の規律や活動の仕方を学ばせ

る」という目的を前面に掲げる学校が57%と、ほぼこの2つが運動会の中心的な役割と考えられていることがわかる。そして、「仲間づくり」「体力づくり」「児童会の活発化」などは、副次的なものとして受けとめられている。

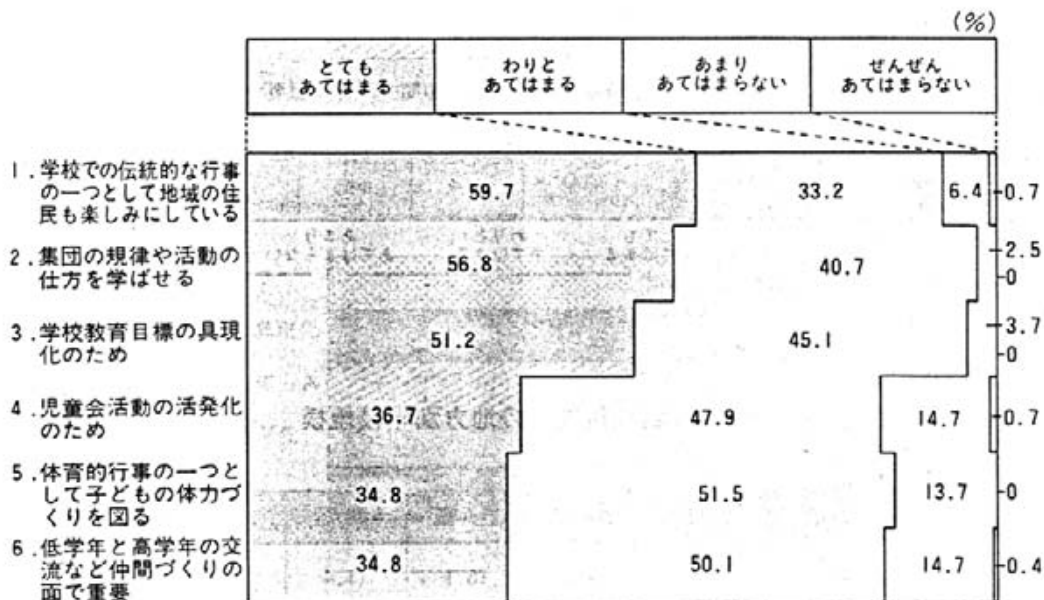
この運動会の目的についての地域差をみたものが、次の図20である。ここでは、単純集計の結果、最上位と最下位に位置した2項目のみを掲げたが、大都市やその周辺に比べて北海道や四国、九州といった地方ほど、「地域住民の楽しみにしている行事」という性格が強い。そして、他のいずれの項目においても、このグラフの形は共通して、大都市やその周辺の地域では、運動会の目的そのものが曖昧になってきている傾向にある。地方によって目的意識に違いがあるのではないかと当初は予測していたが、こうした結果であったため、以下のページでは、学校のもつもう一つの属性である学校規模に注目していくことにする。

ちなみに、調査対象校の学校規模の平均を地方別に集計して表3にまとめたが、関東や近畿ではほぼ一学年3学級という規模であるのに対し、北海道、四国、九州では平均2学級であった。したがって、以下のデータでは近似的に、大規模校を大都市およびその周辺の地域と読みかえても、大きな違いはないと思われる。

さて、図21をご覧いただきたい。ここでは図19で紹介した運動会の目的に関する6項目を学校規模別に整理してある。小規模校では「地域住民の楽しみな行事」が79%と断然トップであるのに対して、学校規模が大きくなるにつれて、その割合は減少し、25学級以上の大規模校ではその数値が41%と約半数にもなっている。それに代わって、「集団の規律や行動の仕方を学ばせる場」としての意味が、相対的に最も重視される結果となっている。

この「集団の規律」に関しては、いずれの学校規模においても、54%～58%とほぼ一定

図19 運動会の目的



しているところに特徴があるが、大規模校においては、なかなか他のことがらに眼を向ける余裕がないというのが実情なのかもしれない。いずれにしても、全校が一堂に会してしかもある程度の長期間にわたってとり組む数少ない行事であろうから、この機会に是非集団の規律や行動の仕方を学ばせようという意

図はわからないでもない。しかし、そうした管理的な発想が前面に出された運動会が、子どもたちにとって楽しいものであるはずがない。例えば「仲間づくり」を、例えば「児童会の活発化の機会に」と、あらためて運動会そのものが、子どもの側の発想に立って見直されてもよいように思われる。

図20 運動会の目的×地域差

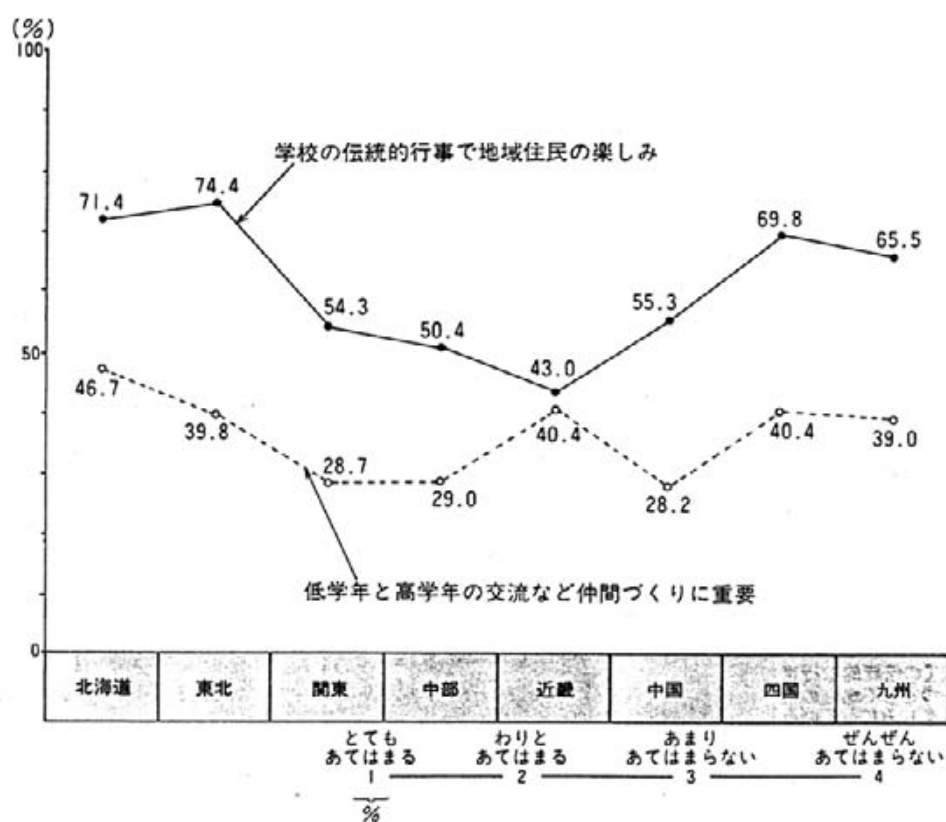
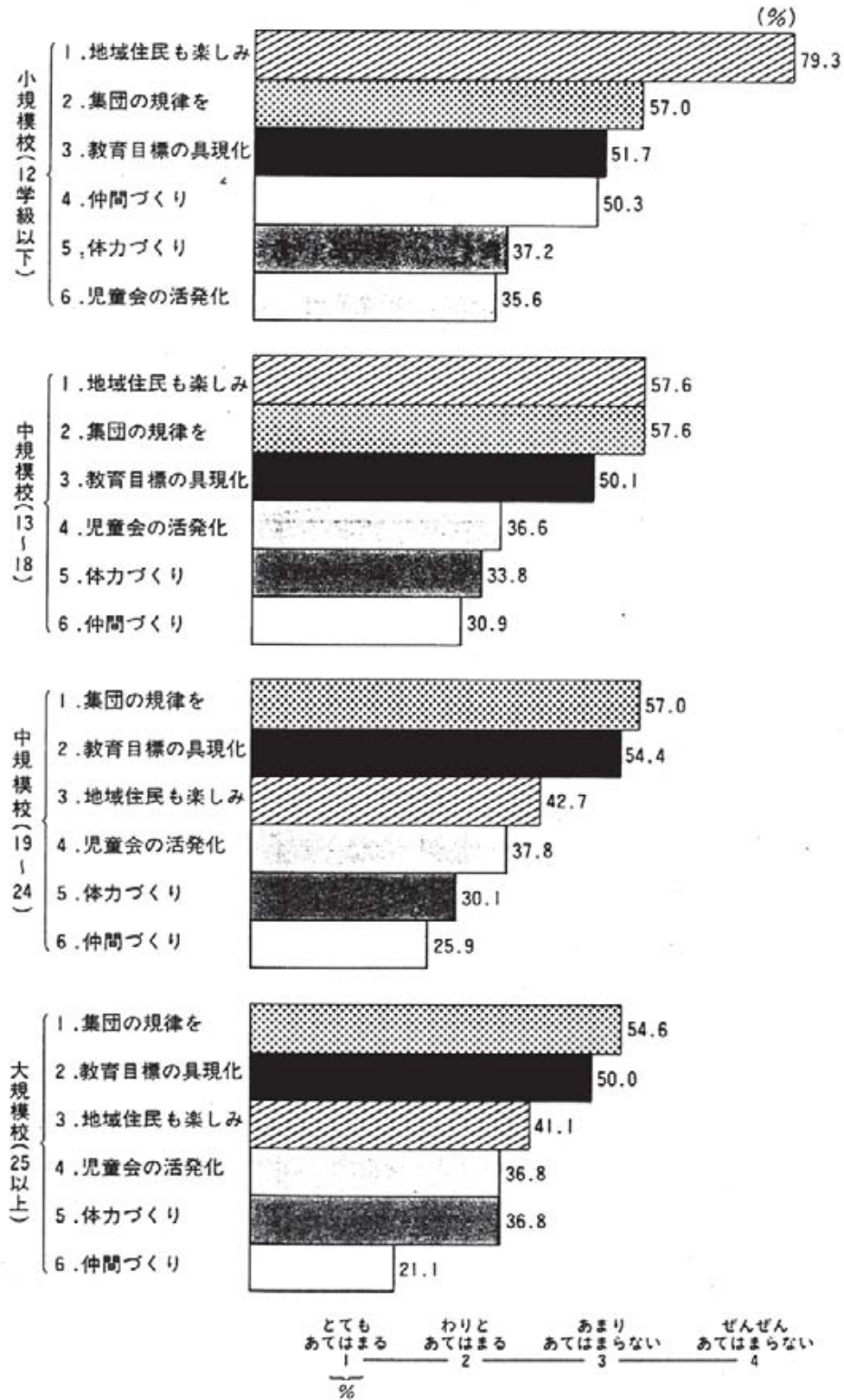


表3 調査対象校の地方別学校規模

(学級数)							
北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
10.7	11.7	17.6	14.3	16.1	11.4	10.9	11.6

図21 運動会の目的×学校規模



計画への配慮と運動会の評価

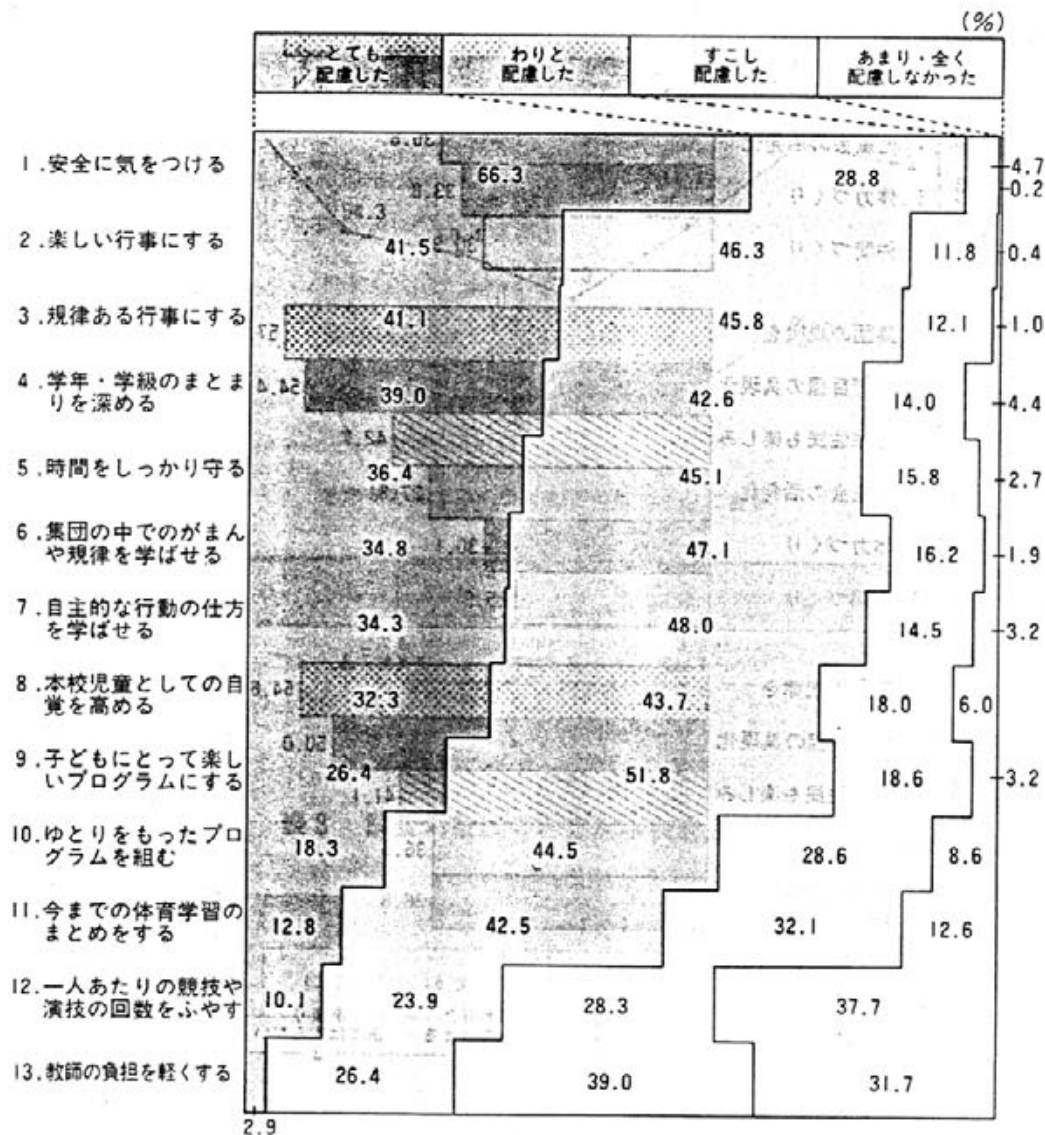
図22には、運動会を企画するに際して配慮したことがらについての結果を掲げた。

まず、何よりも安全に配慮し、ついで「楽しさ」と「規律」が重視されている。この結果を、やはり学校規模別に整理したのが表4

である。

ここからは、それぞれの学校規模に特徴的な配慮の方向がうかがえる。一学年が4学級を超える大規模校では、特に「安全」「時間を守る」「教師の負担の軽減」が重視され、

図22 計画全体への配慮



これと対称的に、小規模校では「楽しさ」や「自主的な活動」が重視される。

そして、運動会を実施した結果への満足度においても、表5に示したように、やはり小規模校ほど高い。

考えてみれば、児童数が1,000人を超える学校と500人程度の学校では、運動会の運営の

仕方や内容も当然異なってくる。手もとにある運動会のプログラムを見ると、中には、小学校と中学校、さらに幼稚園も含めた合同運動会を実施している学校もいくつか見受けられる。こうした規模の学校では、おそらく田園的な風景の中で昔ながらの明るさに満ちた運動会が展開されているのであろう。一方

表4 計画全体への配慮×学校規模

(%)

項目	学校規模			
	小 (12学級以下)	中 (13~18)	中 (19~24)	大 (25以上)
1. 安全に気をつける	95.0	93.0	97.4	98.0
2. 楽しい行事にする	92.7	86.2	84.5	85.6
3. 規律ある行事にする	87.5	87.7	86.6	85.4
4. 子どもにとって楽しいプログラムを組む	86.8	75.8	73.2	72.4
5. 自主的な行動の仕方を学ばせる	84.0	82.2	82.5	77.6
6. 集団の中でのがまんや規律を学ばせる	83.5	82.8	82.5	81.3
7. 本校児童としての自覚を高める	77.4	75.7	75.7	73.7
8. 時間をしっかり守る	76.7	81.8	86.6	86.9
9. 学級や学年のまとまりを深める	76.6	79.9	90.1	87.4
10. ゆとりをもったプログラムを組む	60.5	62.3	69.6	62.5
11. 今までの体育学習のまとめをする	56.7	55.1	58.0	51.3
12. 1人あたりの競技や演技の回数をふやす	35.7	35.9	31.0	29.7
13. 教師の負担を軽くする	25.6	28.7	26.3	31.8

* ○は最大値、～は最小値

とても配慮した 1 — 2 — 3 — 4 — 5
わりと 少 多 まったく

では、自校のグラウンドでは運動会ができず、別に会場を借りるといふほどの学校もあると聞く。こうした学校では、教師たちが、「事故のないように」「時間通りの進行を」と気をもむというのわかるような気がする。とすれば、特に大規模校においては、何も従来型の運動会に固執せず、実情に応じた新たな発想が生まれてもよいような気がする。

もともと運動会のように大勢が集まる行事の場合、その適正規模があるのだろう。少なくとも、トラックの向こう側に陣取る相手の顔が識別できること、今 100 m 競走の出発の

合図を待つ者の緊張感が観衆にも伝わること、そして観衆の眼が一点に集中し、笑いやどよめきが一斉に上がること。こうした条件を満足させるサイズを越えてしまうと、集団としてのまとまりが急激に弱まり、運動会のもつ明るさやあたたかさが失われた、単なる「競技会」と化してしまうのかもしれない。

そしてトータルとして見ると、図23のように運動会に時間をとられるので、他教科へのはねかえりが気になるが、その他の面では「とても」とは言えないまでも、かなり満足できる状況下にあるという評価がなされている。

表 5 運動会の評価×学校規模

項目	学校規模 (%)			
	小 (12学級以下)	中 (13~18)	中 (19~24)	大 (25以上)
1. 当初の目的の達成の度合い	94.1	91.2	86.5	88.0
2. 全体としての楽しさ	92.9	88.5	82.9	83.5
3. 教師間のチームワーク	90.7	91.2	80.8	86.2
4. 全体としてのまとまり	90.4	87.0	80.3	86.2
5. 競技・演技の内容	89.8	82.5	79.8	82.8
6. 子どもの楽しさの度合い	89.6	86.3	77.0	80.8
7. 親の参加意欲	89.2	83.9	76.1	70.7
8. P.T.Aのかかわり方	86.9	88.1	80.3	85.1
9. 子どもの参加の度合い	86.2	81.4	75.6	74.8
10. 他教科への支障	44.6	35.5	41.3	28.3

※ ○ は最大値、〰 は最小値

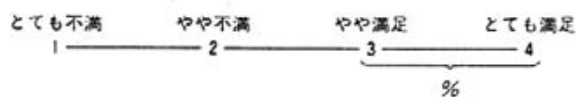
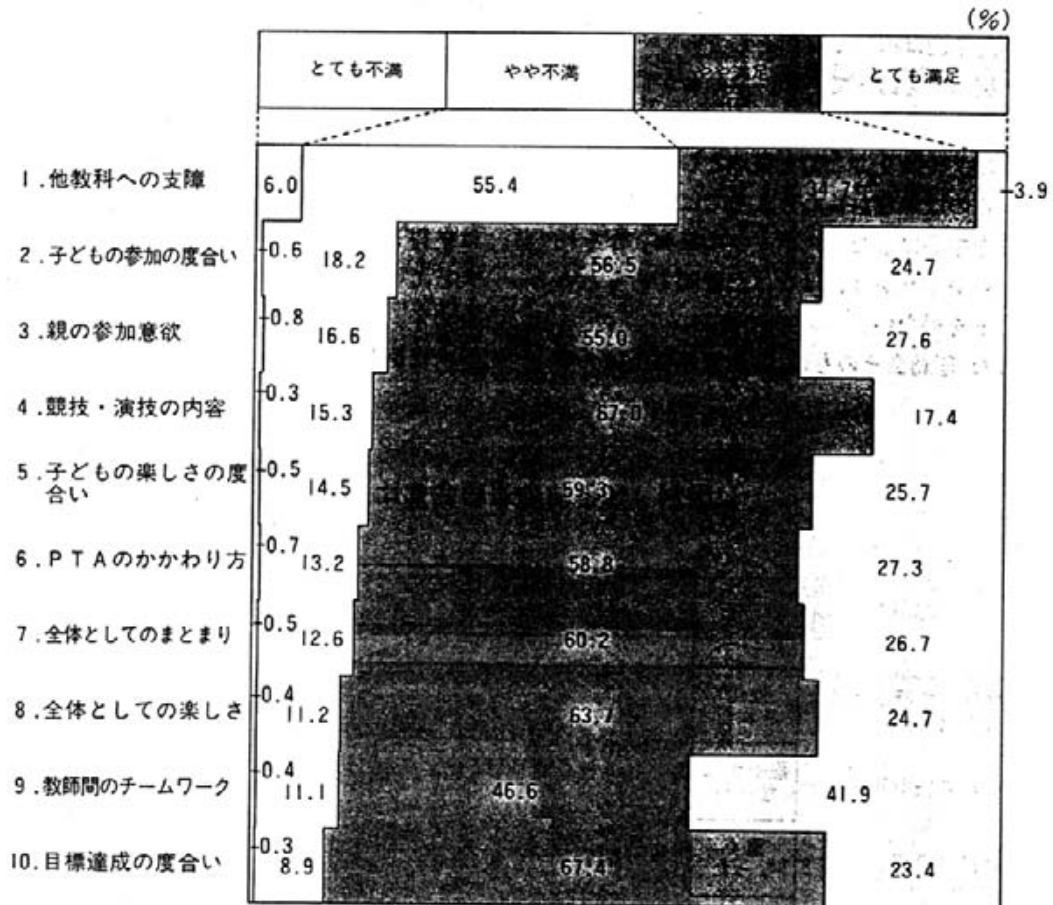


図23 運動会への評価



変化の方向

それではここで、ここまでみてきた運動会の姿は、10年前と比べた場合に、どう変化してきたと言えるのか、そして、今後に予想される変化はどのような方向にあるのか、という2点についてまとめておきたい。

まず図24では、用意した9項目について、10年前の運動会と比べた場合の変化の結果を示してある。それによると、大きな変化として、「整然と進行させるための指導が強化された」「競争中心の傾向が弱くなった」の2

点があげられる。ついで、「会場は華やかになった」が、「地域ぐるみの行事という性格が弱くなり」「運営や進行への子どもの参加機会が少なくなった」ことがあげられる。全体としては、運動会の全体がかなり洗練されてきたという印象を受ける。

オリンピックなどの国際的なスポーツ大会で、日本選手団の入場行進の仕方がよく話題になる。ロサンゼルスオリンピックの際の日本選手団の入場を見て「ミリタント」と評し

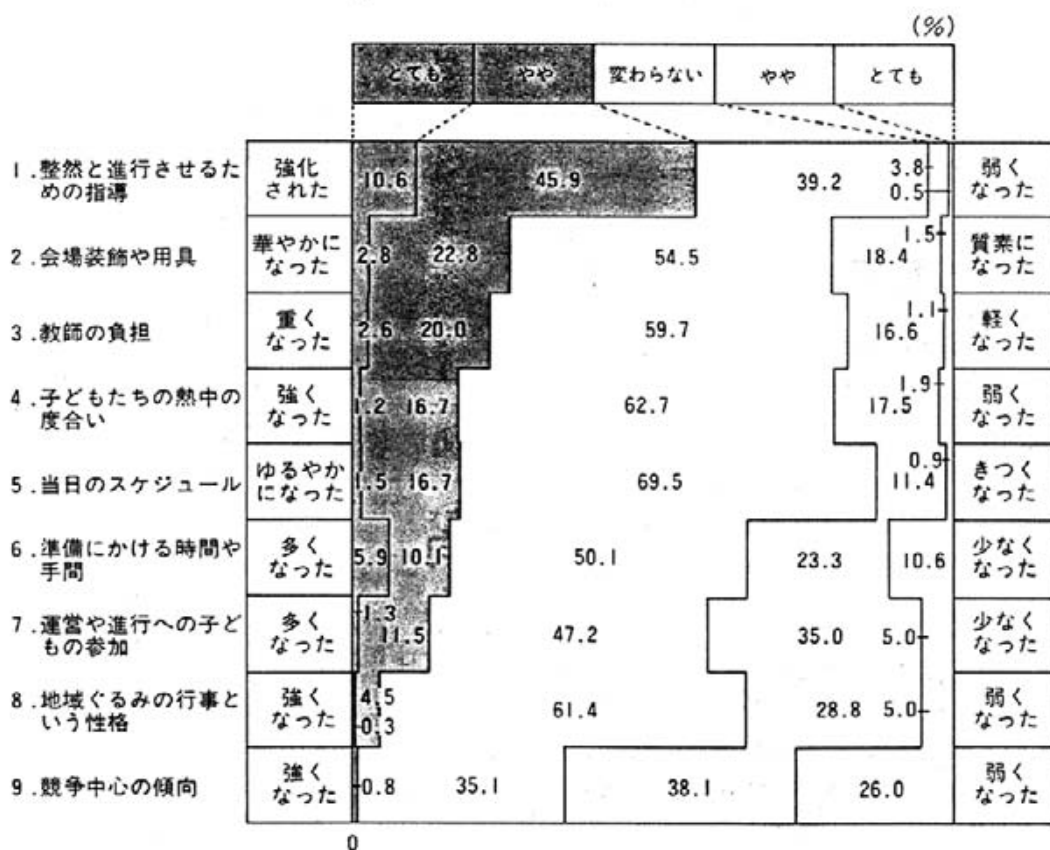
た外国人ジャーナリストがいたが、確かに精いっぱい喜びの表情を見せ、エネルギーの躍動を感じさせる諸外国の選手団に比べれば、日本選手団は極めて整然としていて一糸乱れぬ統制ぶりを誇っていた。運動会が、そうした大会をイメージにおいて構成されているとすれば、やはりここでも整然とした進行が望まれるのは無理からぬところではあるが、子どもを中心にした「スポーツの祭典」がそれでいいかどうかは、はなはだ疑問であるといわざるを得ない。

また、運動会そのものは、教育課程上は「学

校行事」に分類される。したがって、「児童会活動」などとは区別され、基本的な運営権は教師の側にあるという論理が成立する。「運営や進行への参加」から子どもが遠ざけられる主な理由がここにある。また、実際の問題として、これだけの規模の行事を子どもの力でこなせるだろうかという問題もある。しかし、子どものことであるからと少々の手不際は納得し、多少なりとも彼らの運営能力を拡大していく好機であるにとらえ直せば、運動会のイメージや性格もかなり違ってこよう。

次に図25では、今後に望む方向についての

図24 10年前の運動会と比べて



結果を示したが、データは、過去10年間の変化を歓迎し、さらに一層の強化を望むという方向を示している。この図24と図25の関係をわかりやすく整理したものが図26である。ここでは各項目ごとに平均値をとり、10年前と現在と今後とを同一の線上に表した。

それによると、「運動会を整然と進行させるための指導」は過去10年間でかなり強化されてきたが、今後も一層そうした指導に力を入れたいという。逆に、競争中心の傾向は弱くなり、さらにそうした方向が望まれている。同様に、「進行や運営」からは子どもたちは

ますます遠ざけられていきそうである。

もちろん、それぞれの学校や地域の実情に応じて今後の方向は語られるべきであろうから、一概にこうした結果が問題であるとは言いきれない。しかし、教師の手によって設営された舞台の中で、運動会そのものがますますショービジネス化していく印象は拭えない。あらためて、子どもにとって運動会がどのような意味を持っているのか、問い直さずにはいられない。

図25 運動会を変えたとしたら

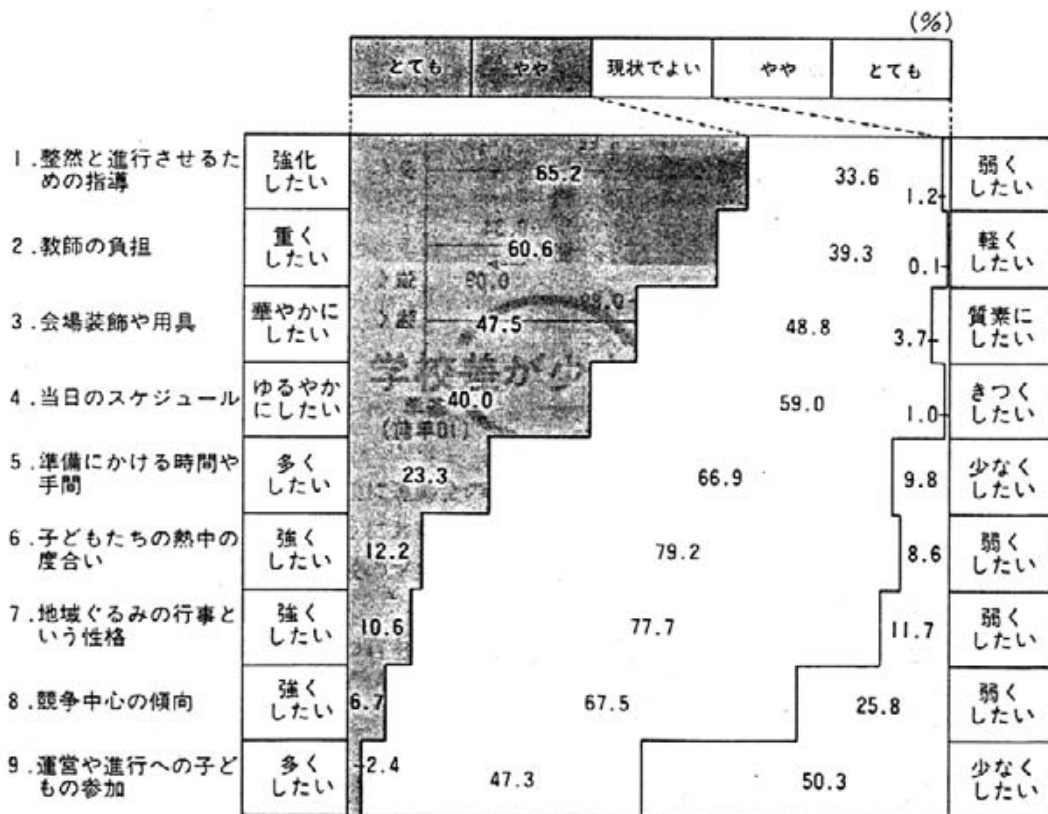
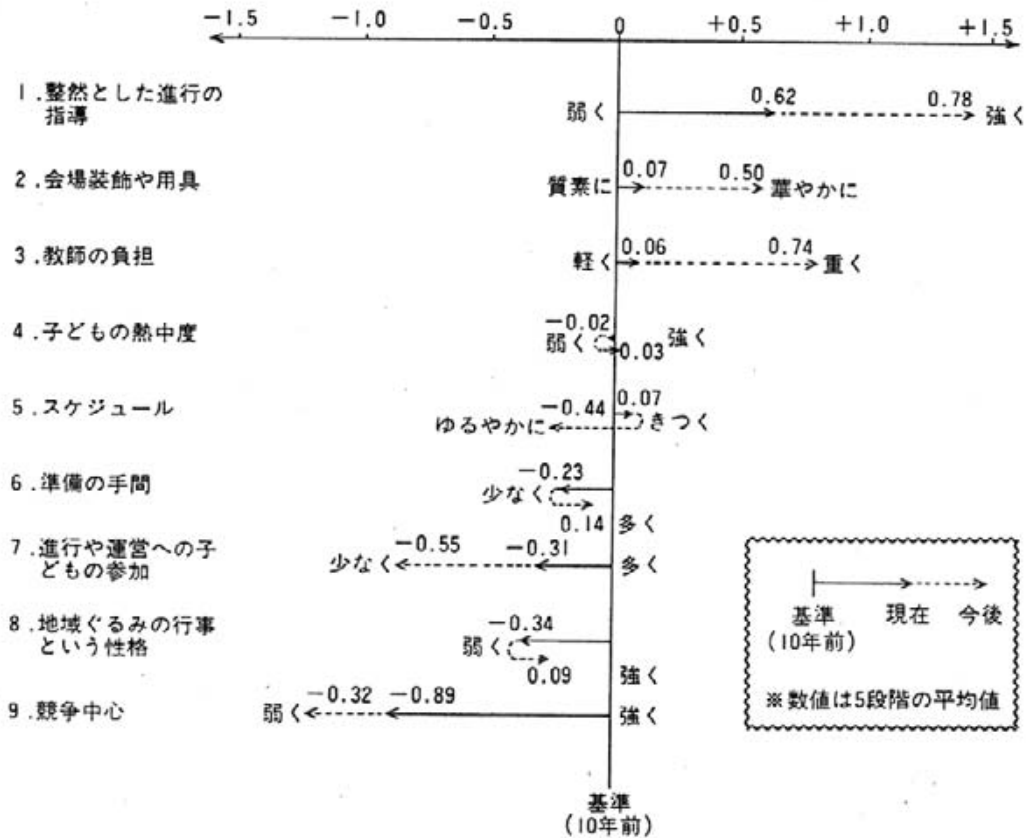


図26 運動会の過去・現在・未来(10年前を基準とすると)



4. いくつかの実践の中から



学校差が少ない

調査を進めるにあたって、学校に運動会のプログラムを送ってくださるようお願いした。そして、おかげさまで483校のプログラムを入手することができた。

各学校の実践なので、1校ずつ目を通させ

てもらったが、第一印象は地域差や学校差のなさであった。学校名を伏せてしまうと、どの学校の運動会なのかわからない。

とりあえず、標準的な運動会のプログラムを示すと、次ページのとおりとなる。

1 標準的なプログラム

<p>入場行進 全員(8:50)</p> <p>I. 開会式</p> <p>1.開会のことば(1年生) 2.校旗入場</p> <p>3.優勝旗・準優勝旗返還 4.校長先生の話</p> <p>5.選手宣誓 6.運動会の歌</p> <p>II. 演技</p> <p><午前>(9:20)</p> <p>1. 準備体操……全員</p> <p>2. エールの交換……全員</p> <p>* 3. 個人 80メートル走……3年</p> <p>* 4. 団体 おみこしワッショイ……4年</p> <p>* 5. 団体 大玉ころがし……全員</p> <p>6. 表現 リズムに乗って……5年</p> <p>7. 個人 入学児のかけっこ……入学児</p> <p>* 8. 個人 100メートル走……6年</p> <p>9. 表現 ひまわりロックンロール……1・2年</p> <p>* 10. 個人 80メートル走……4年</p> <p>* 11. 団体 なかよく走ろう……3年</p> <p>12. 団体 綱引き……PTA</p> <p>* 13. 個人 50メートル走……1年</p> <p>* 14. 個人 100メートル走……5年</p> <p>* 15. 団体 綱引き……1,2,3年</p> <p>16. 表現 マイム・マイム……全員</p> <p>* 17. 団体 紅白リレー……1,2,3年</p>	<p>(昼) 親子で踊ろう…PTA・児童</p> <p><午後>(1:00)</p> <p>18. 鼓 笛……5・6年</p> <p>* 19. 団体 紅白玉入れ……1・2年</p> <p>* 20. 団体 綱引き……4,5,6年</p> <p>* 21. 表現 2001歩のマーチ……3・4年</p> <p>22. 団体 バン食い競走…PTA・来賓</p> <p>* 23. 個人 50メートル走……2年</p> <p>* 24. 団体 騎馬戦……5・6年</p> <p>25. 団体 調子を合わせて……職員</p> <p>26. 表現 組体操……6年</p> <p>* 27. 団体 紅白リレー……4,5,6年</p> <p>28. 整理体操……全員</p> <p>III. 閉会式(2:40)</p> <p>1.成績発表 2.優勝旗・準優勝旗授与</p> <p>3.校長先生の話 4.PTA会長の話</p> <p>5.校歌斉唱 6.校旗退場</p> <p>7.閉会のことば(6年生)</p> <p>◎当日の天候により、演技の変更をすることがあります。</p> <p>*印は、紅白得点の採点種目です。</p> <p>進行によって昼食が早めになることがあります。</p>
--	--

(東京都葛飾区立西澄江小学校)

開会式があり、その後、午前中のプログラムが組まれていて、昼休み。午後からいくつかの種目をこなし、閉会式を行い3時過ぎに終了という展開である。しかも、そうした形式だけでなく、午前中に20前後、午後10近くという種目数。さらに、徒競走に団体ゲームや表現行動をまぜるプログラム構成、そして式次第まで、学校ごとの個性を見出しにく

い。

日本の学校は個性に乏しいといわれる。そうした指摘が運動会についてもあてはまる印象を受ける。国語や算数の授業には学校の独自性を発揮しにくい、運動会ならその学校なりの実践を展開できると思うのに、どうして規格化されたようなプログラムが多いのであろうか。

走りまわるタイプとゲーム主体型

そうした中から、大きな傾向として、徒競走の比率の多い「走りまわる運動会」系列と

マスゲームなどが目につく「ゲーム形式の運動会」系列とがみられる。

2 走りまわる運動会

—徒競走が多い—

No.	学年	種別	回数	場所	賞	用具	時刻
1	3 全	100M	6	ト	3	決勝テープ、時計	9:30
2	2 全	100M	7	ト	3	"	
3	1 全	100M	5	ト	3	"	
4	4 全	100M	6	ト	3	"	
5	5 全	100M	6	ト	3	"	
6	6 全	100M	8	ト	3	"	
7	3 全	楽しいピクニック	6	ト	3	はしご、ハードル、平均台、リュック、ボール、あみ	10:00
8	4 全	出前一丁	6	ト	3	お盆、ボール	
9	1 全	持久走 200M	2	フ	3		10:20
10	2/3 全女	" 400M	3	ト	6	鐘、到着札、回数札	
11	3/4 男女	" 600M	2	ト	6	"	
12	4/5/6 男女	" 800M	3	ト	6	"	
13	5/6 男	" 1,000M	2	ト	6	"	
14	1 全	おそうじホイホイ	5	ト	3	ほうき、ちりとり、ごみばこ、ごみ、エプロン	10:50
15	2 全	オラ東京さ行くだ	7	フ	3	手ぬぐい、長ぐつ、ナイロン袋	
16	老人クラブ来賓	宝の山	3	フ	宝	宝100こ	
17	中学生	100M	4	ト	全	決勝テープ	
18	全校	フォークダンス・タタロチカ	1	フ		レコード	
19	1・2・3	だるま運び	2	ト	3	だるま4	11:20
20	5 全	かり物競争	6	ト	3		
21	6 全	大逆転	8	ト	3	あみ、あめ、ボール、はしご	
22	1・2	色別全員リレー	2	ト	3	バトン	11:40

No.	学 年	種 目	回数	場 所	賞	用 具	時 刻
23	4・5・6	天下分けめの戦い	3	フ	3	太鼓、ぼうし	
24	P T A	地区対抗リレー	1	ト	全	バトン5	12:00
昼 食 ・ 休 け い							
25	4・5・6	鼓笛パレード	1	ト		太鼓、笛、他	1:20
26	4・5・6	馬力競争	1	ト	3	馬そり	
27	P T A	つり大会	4	フ	全	びん、つりざお	
28	3・4	色別全員リレー	2	ト	3	バトン	
29	5・6	色別全員リレー	3	ト	3	バトン	2:10

(秋田県北秋田郡鷹巣町立東小学校)

3 ゲーム主体のプログラム

——障害物競走やタイヤ引きも——

1. 準備運動	3～6年
2. おひさまといっしょにおどったよ(表現)	1年
③. リレー(競走)	2年
4. 三年生海底を行く(表現)	3年
5. 紅白玉入れ(遊)	1年
6. 障害物競走(遊)	5年
7. 応援合戦	児童
⑧. 借り物競争(遊)	児童
9. 綱引き(遊)	4年
10. はるかなる長安へ(表現)	6年
11. かけっこ(競走)	1年
12. 田うえいねかりきょうそう(遊)	2年
⑬. リレー(競走)	3年
14. ヒーロー(表現)	4年
⑭. 色別対抗リレー(競走)	選抜
16. 幡多小音頭	児童
17. わくわくランドへ行こう(表現)	2年
⑯. リレー(競走)	5年
19. タイヤ引き(競走)	3年
20. 騎馬戦(遊)	6年
⑰. リレー(競走)	4年
22. なかよし太鼓(表現)	5年
⑱. リレー(競走)	6年
閉会式	

○印は得点種目

(岡山県岡山市立幡多小学校)

2番目のプログラムのように、走りまわるのもいかにも運動会らしいし、3番目のように、ゲーム型式を主とするのも、楽しかろう。どちらのほうがより良いとは言いがたいが、

学校ごとに、こうしたプログラムを参考にし、マンネリにおちいることなく、種目の選定を行ってほしい。

家庭や地域の協力を得て

そうした種目によるタイプ分けとは別に、参加者により、特色のみられる事例もある。

4 親子運動会

—両親の参加を求めて—

No.	種目	出場者	係	開始時刻
1	ラジオ体操	全 員	高 田	9:00
2	100m・50m競走	小学生全員・保育所	各担任	9:15
3	仲良しお使いゲーム	3、4年生とその親	山 田	9:35
4	親子であそぼう	保育所幼児とその親	教 委 ト 蔵	9:45
5	とうさん、かあさん大好き	1、2年生とその親	楠・原	10:15
6	父さん、かあさん 一緒に走りましょう	全 員	ト 蔵	10:25
7	600m競走	4、5、6年女子と母さん有志	石 飛	10:45
8	1,000m競走	4、5、6年男子と父さん有志	高 田	10:55
9	どじょうすくい	1、2年生とその親	楠・原	11:05
10	親子競争	保育所幼児とその親	稲 中 田 西	11:20
11	玉入れ	小学生女子とお母さん	神 庭 石 倉	11:35
12	障害借物競争	5、6年生とその親	石 飛 吉 田	11:50
昼 食 ・ 休 憩				
13	フォークダンス *おさななじみ*	小学生全員・保護者	山 田	1:20
14	応援合戦	①白組・②赤組	神 庭	1:35
15	ダブルボールリレー	3、4年生とその親	高 山 田 田	2:05
16	つなひき	小学生男子とお父さん	神 庭 吉 田	2:20
17	なにが出るでしょう?	来賓とPTA役員	高 田	2:40
18	アメさがしドリブル	5、6年生とその親	吉 田 石 飛	2:55
19	全員リレー	小学生と親全員	神庭・高田 石飛・吉田	3:10

(島根県能登郡伯太町立赤屋小学校)

5 地域ぐるみの運動会

—青年団や公民館も参加して—

8:30 開会式		行進・入場			5. 誓いのことば					
		1. 開会宣言			6. 運動会の歌					
		2. 国旗掲揚			7. 演技上の注意					
		3. 優勝旗返納(児童・公民館)			8. 準備運動					
		4. 開会のことば			退 場					

	順	演技者	種 目	場	回	点	等	用具	責任者	
9:00	1	4 年	短 距 離 走	外	2	◎	3		吉 嶺	
	2	2 年	か け っ こ	外	2	◎	3		福 迫	
	3	五 年	短 距 離 走	外	2	◎	3		河 野	
	4	1・2年親子	ゆ っ く り い そ げ	内	1	◎	2	○	大 菌・福迫	
	5	新 入 児	来 年 は 1 年 生	外	3		全		高 崎・木場	
	6	P T A 役 員	安 全 運 転	外	1		全	○	川 野 清 明	
9:30	7	1 年	か け っ こ	外	1	◎	2		大 菌	
	8	婦 人	婦 人 会 リ レ ー	外	1		6		道 岡 フ ク エ	
	9	3・4 年	持 久 走	外	3	◎	5		吉 嶺	
	10	5 年親子	大 空 身	内	1	◎	4	○	河 野	
応 援 団 白 勝 て // 赤 勝 て //										
10:00	11	2 年	持 久 走	外	1	◎	5		福 迫	
	12	1 年	持 久 走	外	1	◎	2		大 菌	
	13	公 民 館	綱 引 き「予 選」	内	3	○		○	前 田 未 吉 操 田 畑	
	14	公 民 館	青 年 リ レ ー	外	1	○	6		吉 嶺	
	15	一 般	家 族 リ レ ー	外			全		前 田 勝 夫	
	16	P T A O B	地 球 は 回 る よ	内	1		全	○	吉 留 貞 則	
	17	3・4年親子	親 子 ふ れ あ い 体 操	内	1				吉 嶺	
11:00	18	老 人	大 ゲ ー ト ボ ー ル	内	1		全	○	山 下 正 吉	
	19	公 民 館	婦 人「2 人 で 1 人 前」	内	1	○	6	○	道 岡 フ ク エ	
	20	5・6 年	持 久 走	外	2	◎	5		河 野 宮 之 原	
	21	公 民 館	玉 入 れ	内	1	○	6	○	久 徳 正 一	
	22	一 般	職 域 対 抗 リ レ ー	外	2		全		内 田 徹	
12:00	23	1・2・3 年	紅 白 対 抗 リ レ ー	外	1	◎	4		吉 嶺	

昼 食 (12時)		◎印 紅白対抗採点		○印 公民館対抗採点					
順	演技者	種 目	場	回	点	等	用具	責任者	
1:00	24	3年以上	川上サーカス一座	内外			○	吉 嶺	
	25	PTA全員	全員集合	外	1	全	○	石神一東	
	26	一 般	ねらいを定めて	内		全	○	淵 脇 豊夫 馬場 洋夫	
	27	3 年	短 距 離 走	外	1	◎	3	吉 嶺	
1:30	28	6年親子	親子で・ペアで	外	3	◎	4	○	宮之原
	29	来 賓	そろりそろり	内	1		○	有川修平	
	30	婦人会	おどり「手拍子ばやし」 「しあわせのうた」	内			全	道岡フクエ	
	31	青年団	稲 かけ 馬	外			全	北山修	
2:00	応援団 赤勝て!! 白勝て!!								
	32	全 校	紅白対抗綱引き	内		◎	2	○	吉 嶺
	33	公民館	輪 入 れ	内	1	○	6	○	前田実夫 福ヶ野 忠
	34	6 年	短 距 離 走	外	2	◎	3	宮之原	
2:30	35	中学生	息を合わせて	外			全	○	田中信正
	36	公民館	綱引き「決勝」	外		○	全	○	前田末吉 田畑 操
	37	全 校	リズムなわとび	内	1			吉 嶺	
	38	職 員	まこてはがいか	外	1		全	○	宮之原
	39	公民館	年代別リレー	外	1	○	6	久徳正一	
3:00	40	4・5・6年	紅白対抗リレー	外	1	◎	4	宮之原	
<p>閉会式 3:10 集 合</p> <p>1. 整理運動</p> <p>2. 成績発表</p> <p>3. 優勝旗授与(児童・公民館)</p> <p>4. 参加賞授与</p> <p>5. 閉会のことば</p> <p>6. 校歌斉唱</p> <p>7. 国旗降納</p> <p>8. 万才三唱</p> <p>9. 閉会宣言</p> <p>解 散</p>									

(鹿児島県日置都市来町立川上小学校)

家庭や地域の協力を求めるこうしたプログラムの場合、それなりの努力が必要となる上に、おとなたちの影が強くなり、子どもがわき役になってしまう可能性も強い。したがって、地域や家庭と学校との連携が強まるとい

うメリットとは別に、デメリットも予想されるので、親子運動会がベストとは言いがたいが、こうした企画も、規格化された運動会から脱皮するためのひとつの方向であろう。

2:00	18. それいけワッカー..... 1年全 わをひろって、じぶんのじんちになげいきます。うまきはいるかな。						
	● あいさつ P T A 会長						
	19. むかできょうそう..... P・T・A 5人が1びきのむかでになってはやく走り、つぎの組にリレーします。						
	20. リレー..... 4年女 バトンタッチとじゅんぱんをクラスみんなで考えました。						
	21. たまいれ..... 2年全 よくわらい、みんなでかごにたくさんのかたまをいれます。						
	22. ながら川の花火..... 3年全 音と光の美しさをみんなで表現します。						
	23. リレー..... 6年男 コーナートップの方法でバトンタッチをして走ります。						
	24. 100メートル走..... 5年全 さいごまでリズムよく走りぬきます。						
	25. リレー..... 4年男 バトンタッチとじゅんぱんをクラスみんなで考えました。						
	26. わなげでなかよし..... 6年全 一学期の「みずのわ活動」をカーぱい表現します。						
3:00	27. リレー..... 5年男 コーナートップでさいごまで力強く走ります。						
	28. おうえんがっせん..... ぜんこう さいごの力をふりしぼっておうえんします。						
	29. せんしゅリレー..... ぜんこう男 いろのだいひょうとして力いっぱいがんばります。						
<p>へいかいしき</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 目あてのはんせい</td> <td>4. 校長先生のはなし</td> </tr> <tr> <td>2. とくてん発表</td> <td>5. 運動会よさようならのうた</td> </tr> <tr> <td>3. ゆうしょうきじゅよ</td> <td></td> </tr> </table>		1. 目あてのはんせい	4. 校長先生のはなし	2. とくてん発表	5. 運動会よさようならのうた	3. ゆうしょうきじゅよ	
1. 目あてのはんせい	4. 校長先生のはなし						
2. とくてん発表	5. 運動会よさようならのうた						
3. ゆうしょうきじゅよ							

(岐阜県岐阜市立長良小学校)

② これまでの記録がのせてある にとっても名誉であろう。こうした記録のの
最高記録がのせられているので、子どもた せてあるプログラムは15校を数えた。
ちにとってはげみになろうし、記録の持ち主

<徒競走最高記録>

学 年	種 目	男 子			女 子		
		氏 名	記 録	年 度	氏 名	記 録	年 度
1	50m	田 中 実		42	横 川 まさみ	9' 1	43
		長谷川 則之	9' 0	58			
		日 高 幸一		58			
2	50m	田 中 実	8' 5	43	神 田 有 佳	8' 9	57
3	80m	志 村 亮	12' 6	57	熊 倉 路 子	13' 3	57
4	80m	村 井 康 一	12' 4	41	細 川 美 幸	12' 5	42
5	100m	江 川 昌 次	15' 0	49	藤 原 直 子	15' 5	48 59
					藤 原 直 子		
6	100m	中 山 淳 一	13' 7	58	鈴 木 美 智 子	15' 0	44

(神奈川県相模原市立向陽小学校)

③ 出場する子どもの名前をのせているものスターを作るからという理由で、反対論があるのかもしれない。しかし、それぞれの機

会に、自分の名前がみんなの前に発表されるのは、その子に対して自信を与えよう。もっとこういう工夫をこらしてよいのではないか。

団対抗 選手名簿 (A)団

団対抗 選手名簿 (B)団

1. 短距離走

1. 短距離走

1・2年50m 3～6年100m

1・2年50m 3～6年100m

年	男			女	
1年	鈴木 広行	新井 宏和	島村 玲子	町田 美保	
2年	町井 博和	丸木 昇	梶田 和美	小池 有美	
3年	常見 和宏	磯川 博基	大久保輝子	安羅岡美幸	
4年	新井 章宏	原口 高志	佐藤 美保	小林 智子	
5年	新井 和則	鈴木 克典	江里川智子	石川 裕子	
6年	関根 健治	根岸 裕二	矢部美江子	馬場真理子	

年	男			女	
1年	橋本 晃希	島崎 和彦	田口 結貴	岩瀬ひとみ	
2年	山田 裕輝	竹尾 和則	鈴木 久美	島村 知子	
3年	佐々木 勉	関根 宏幸	斉藤 百恵	森田奈々江	
4年	渡辺 毅	松島 俊幸	細井久美子	大谷 裕美	
5年	榎本 勲	松村 義勝	寺内めぐみ	森 尚美	
6年	中島 利孝	榎本 仁	柿沼恵美子	西広 典子	

2. 持久走 男子 1,000m 校庭5周
女子 600m 校庭3周

2. 持久走 男子 1,000m 校庭5周
女子 600m 校庭3周

	男		女	
5年	富 寛	山田 孝裕	松川亜弥子	東川 真弓
6年	栗原 豊	高鳥 雄一	沢木 清美	細村 浩子

	男		女	
5年	益川 快康	村岡 茂幸	榎本 照美	岩崎小津江
6年	山本 輝男	竹尾 宣保	塚田 友絵	石井 敦子

3. リレー

3. リレー

男 1人 女 1人

男 1人 女 1人

1年	古子 直仁	森田 亜弥子
2年	土橋 宏章	梅原 花織
3年	関口 純	岩崎 悦子
4年	関根 憲史	渡辺 由紀子
5年	安羅岡 秀明	安羅岡 晃代
6年	関根 大輔	福田 絵美子

1年	猪巻 博樹	五十嵐 麻希
2年	中島 誠和	高瀬 千寿世
3年	高沢 光良	大沢 裕美
4年	中島 直孝	長谷川 由美
5年	岩崎 善之	関下 千重
6年	大沢 雅洋	吉沢 絹子

(埼玉県羽生市立新郷第一小学校)

④ クラスごとの目標を掲げてある
③の形が個人名が前面に出るといふのなら、学級の目標を掲げてはどうか。引用した旭川市立末広北小学校は、今回入手できたプログ

ラムの中で、たった1校だが、学級ごとの運動会への取り組みをプログラムに明記してあった事例である。

しんけんなきもちでさいごまで
がんばるうんどうかい 1ねん1くみ

- めをきらきらして、あせがでるほどがんばる
おおぬまえいち はたけやまより
かねこなおふみ たかはしひろみち
みやしたしんいち いしだ ひさこ
かわさきしょうた ずし えりこ
たけだこういち はしだ りょう
のりた ともこ ほり よしこ
おおくぼさおり えつか なおき
うめづ かおり すぎもとゆうこ
よこやましおり おか よしあき
やまねじゅんいち ほそかわあきら
さいだ あゆみ たかはしゆうこ
- まけてももんくをいわないで、つぎをがんばる
ごとうひでゆき かみや みか
○かっても、まけたひとに「こんどがんばってね」という
うしだともゆき おくやま みき
ひらの さなえ やまだ あきこ
さとうけいすけ ひがしかたまさと

がんばるうんどうかい 1ねん2くみ

- たまいをがんばる こばやしあきしと
たかはしまこと すがの ゆか
ただちはる
- つなひきをがんばる はしもとひろき
おの こうじ わたなべだいき
さいとうりゅうじ せいの たかし
つじ なつこ
- リレーをがんばる かわむらかずみ
たかはしけいこ そのだりゅうじ
さわむらだいすけ かわなみ えり
なかみやまよしかず かまだ あきよ
○ときょうそうをがんばる すずき けんじ
やまうちまさと たかはしすぐる
いしざわたかひろ
- リズムをがんばる うめもとちひろ
おおもりかこ しばた まゆみ
たけだ まみ
- まっているときのおぎょうぎをがんばる
うさみしんいち
- おうえんをがんばる いしばしみおこ
ふくい えいこ かねうちめぐみ
のでら よしみ

力いっぱいがんばって、とてもたのしい
うんどうかいにしよう 2年1組

- 力をだしてさいごまでがんばります
しぶや ほづみ たかはしゆき子
すずきかずみち のなか ゆり子
むらかみまさと やまだ さと子
やましなりょう ひぐち ゆか
かなやまさゆき
- こうしんやたいいくずわりをがんばります
こさかいひろむ さいとう みき
すずき ちか子 いまづしゅんすけ
なかもなともふみ とば よしゆき
のむら さおり おいまつ あき
ふるい まり子 やまもとのぼる
やまね まゆみ

- 力をぜんぶだしてつなひきをがんばります
かなざしさとし ごとう のり子
いとう ゆりか いこま なな
もりやとしあき いしがきともただ
- ときょうそうをがんばります
きくちけんたろう あべ とおる
にしはらくみ子
- リズムをしっかりとがんばります
やまうちまこと あきやま ゆか
- 力をふりしぼってリレーをがんばります
あんどうともみ あべ まゆ子

がんばる うんどうかい
2年2組 よしだやすゆき

きょう学校でうんどう会のめあてをきめました。「1年生をたすけ、いっしょうけんめいがんばろう。」ときめたので、ぼくはがんばろうとおもいます。それから、そのほかではリレーをがんばる、土いじりをしないとあとにもいっばいあるんだけど、みんなががんばりたいとおもいます。そしてほんとうのうんどうかいでは、もっとがんばって1とうしょうになりたいです。

たんぼぼ学級がんばるぞ!

3年1組

- めあて「力を合わせてさいごまでとりくむ」
○ゆうぎはまちがいをしないようがんばる。
○1年生や2年生におてほんを見せる。
○うんどうかいのめあてをまもってがんばる。
○すないじりやおしゃべりをしない。
○こうしんや体育すわりをがんばる。
○ならびかたやつな引きなどをがんばる。
○いっしょうけんめいときょうそうをがんばる。
○自分のでばんでないときは、きちんとてんの中でおうえんする。
○人にめいわくをかけないようにする。
○かってもまけても、力いっばいがんばる。
○白組がかっても、はくしゅをいっばいする。
○はずかしがらないでいっしょうけんめいする。
○今までのべんきょうをたいどであらわす。
一人ひとりががんばることを書いて、それをまとめました。一人ひとりの力をしっかりと合わせて、さいごまでやり通したいです。

きょう力する 運動会

3年2組 武井 美奈

わたしは、運動会にサンバカーニバルというおどりをします。4年生といっしょにおどります。とてもおもしろいおどりです。ポンポンをもっておどります。

運動会にがんばることは、走るときにしっかり手をふって走ることとおどりのとき、力いっばいおどることです。

運動会のめあては、「赤組にかつ」と「心をつにしみんなできょう力してやり通す」です。赤組にかつというめあては、おぎょうぎや手のふりかたもいれてかなければならわれないので一生けんめいがんばります。おどりのときも、ポンポンを強くふってりっぱにみられるようにします。おどるときは男の子と組を作るので、少しはずかしいですがはずかしがらないで、一生けんめいにおどります。

みんなでやりぬけ4年生

4年1組 松浦 友

ぼくは、青空学級としてのしっかりした行動をしたいと思います。たとえば、行進、種目をする時のたいどなどに力を入れていきます。「未来にはばたけ、ふんばる北っ子」、をめざしてがんばっていきます。

4年1組 山本 厚志

ぼくは、行進を2・3年のころよりうまくしたいです。わけは、2・3年のころはあまり行進がうまくできなかったので、4年生になったんだからうまくしてがんばりたいです。

4年1組 佐藤 智明

ぼくは、ときょう走とリレーでいっしょうけんめいがんばります。今回、ぼくたちは白組です。勝っても負けても、もんくをいったりしないようにします。

4年1組 井野 智弘

ことしの運動会でがんばることは、去年の運動会より、きょうぎやリズムをがんばってだれにでも「すごかったね」といわれて、本当に末広北小の4年生らしくったと思える運動会にします。

4年2組 海老名博昭

ぼくは、みんなより走るのおそいで、リレーなどいっしょうけんめいがんばりたいです。3年生の運動会の時はまけたのでこんどは、力を出してがんばります。

4年2組 柳沢 通

ぼくは、運動会でリレーをしっかり走ってまけないようにしたいです。それから、つなひきを力いっぱいがんばり、赤組がかてるようにしたいと思います。

4年2組 永山 真理

私は、運動会でリレーにでます。今年はみんながリレーにでるのですが、私は足がおそいのではやくるように、家の前でなわとびや道路10週をして毎日がんばっています。

4年2組 鎌田 香織

わたしは、リレーなどでがんばりたい。4年2組は赤組なので、赤組をおうえんして、赤組がかつようにしたいです。

いっしょうけんめいがんばるぞー！！

5年生のふんばり

5年生の目あて

「全力をだしきり、力を合わせて、自分達の手で最後までやりぬく運動会」

「全力を出す」とは、当日は、もちろん、練習の時や実行委員会活動をする時、一人一人が、自分の力をだしきりということです。

「力を合わせる」とは、一人の力では、弱いので、みんなの考えや力をあわせて競ぎや仕事をがんばることです。

「自分たちの手でやりぬく」とは、運動会を成功させるために、一人一人が、しっかり考えて最後まで行動するという事です。

1組では

- 5年生としての自覚をもって行動する。
- みんなで協力する。
- 全校の手本になる。

○実行委員会で自分の考えを発表し進んで仕事をやる。

2組では

- 目あてを持って行動する。
- 手本になる行動をする。
- 注意しあってりっぱにやる。
- 工夫したとりくみをする。
- 実行委員会で自分の考えを発表する。
- 実行委員会の様子をほうこくしあう。

3組では

- 計画を立てる。
- 学級全体で参加する。
- 人にたよらないで自分でする。
- 低学年の手本やおせわをする。
- 自分ではんだんし次のことを考えて行動する。

このことを一人一人が守ったら目あても守れます。また、ときょうそうやリズム、こうあんそうなど一人ひとり協力しあいがんばれると思います。とくに今年は、5周年の5年生として自分たちのことだけでなく、学校全体がよくなるようにがんばりたいと思います。5年生みんなが目あてに向かってがんばります。

運動会に向けて

6年 学年委員

私たち、6年生は、今までの先輩達がつけてくれた土台をもとにして、5周年記念大運動会を、りっぱにつくりあげるのがやくめです。

今まで、たりなかった部分などつけたしたり、まだみんながやりとおしていないところを一步、一步進んでいきたいと思ひます。

実行委員会のとりくみでは、実行委員の中でも一番上の学年なので、人にたよらずたよられる6年生になるためがんばっています。

今まで何回も実行委員をやっているけれど今年の実行委員は今までより大変だということを目覚してやりたいと思っています。

私達、学年委員も、おらにむかっていけるような競技にするため話し合いました。そこで決ったのが、5・5・ゴールです。

この競技、勝負よりも、内容を楽しくし、見ている人達にも、がんばりが伝わるようにがんばります。

団体戦は、5年生と一緒にする騎馬戦ですが、体格のちがう5年生と6年生がどんな作戦を練るか楽しみにして下さい。

応援では、心のこもった応援をするようにしたいです。6年生が見本になってりっぱな応援をしないと1年生から5年生までだらしがない応援になるので、一人一人がりっぱな応援をします。

この3つの大きなとりくみで6年生としての自覚をいつももっています。

いつでもだれにみられてもはずかしくない5周年記念の6年生らしい行動をしようと思ひます。

全力を出しきり、勝負にかんげいなく、5周年記念の運動会、小学校最後の運動会を大成功させたいです。

(北海道旭川市立末広北小学校)

⑤ 表現活動について説明をつける

マ스ゲームは徒競走などと異なり、なぜそういう活動をするのか、わかりにくい。それだけに、以下の引用例のように、くわしい狙

いを示しておく、親たちとしても、学校の意図がわかり、学校の活動について協力する気持ちがわいてこよう。

「表現運動」の学習を運動会に
発表するにあたって

表現運動とは、人間の感情を体全体を使って律動的な動きで表現する運動で競争を伴わない運動です。物事や事象に素直に感動できる豊かな心を育てること、自己の考えや感動を身体活動を通して個や集団で表す創造力を伸ばし、体を美しく思い通りに動かせる表現体に育てることをねらっています。日頃、3～6人の小集団で動き方、表し方を学習してきたものを学年全体という大集団で表すために多少無理があり、一部隊形をマ스ゲーム化させてあります。見ている人に何の模倣か、どんな感じを表しているのか「わかる動き」である様にと、児童・教師共々精一杯演じました。

1年生 「かわいい動物さん」

かわいい1年生が、動物のまねっこ遊びをします。

「バック、バック」とかけめぐる子馬さん。

「ぶらん ぶらん」「のっし のっし」とぞうさん。

「によろ によろ」と地をはう、へびさん。

そして、お尻を「ブル ブル」振って歩く、ペンギンさん。優雅に羽を広げる、素敵なくじゃくさん。元気にとびまわることりさん。

それぞれの動物の動きや形の特徴をとらえ、そのものになりきって、模倣します。

2年生 模倣「ゆうえんち」

さあ、ゆうえんちに出発です。バスにのって、野こえ、山こえトンネルをくぐったり、でこばこ道を走ったり高速道路も通りますよ。

「くるくる くるくる」まわるコーヒークップ。シーソーは高くなったり低くなったり、とても楽しいです。

新型のジェットコースターにも乗りました。長い長いレールからいつのまにかふん水池のボートにうつります。

さいごはひこうとうです。高く速くくるくる回りました。

帰りは、ひこうきにのって元気よく家まで帰りました。

3年生 「風船の旅」

風船が空気をいっぱいつめて、旅に出ました。

フワフワ…緑のじゅうたんを敷きつめた大草原の上。

フワフワ…こんどはきれいなお花畑。

風船はさらにとび続け青い海の上をやっ

て来ました。強い風と大きな波にもまれて、必死にとび続けます。

でも、とうとう力つきて「バーン」で飛ばれてしまいました。

けれども、中から小さな風船がいくつもいくつも生まれ、また、風船は旅を続けていきました。

4年生 「花火」

花火は力が急に爆発するおもしろさをもっています。その「力が急に爆発する感じ」をいろいろの花火で表現しました。

「ゴー」カいっばいロケット花火が大空へ発射。

「パチパチパチ、シュッシュッシュッ」

かれんな線香花火

「クルクルクル、バーン」はじける

ねずみ花火

「ヒュー、バーン」大きく広がる打ち上げ花火

クライマックスは仕かけ花火です。どんな仕かけがあるでしょうか。常小の校庭に展開する華麗な花火の饗宴をお楽しみ下さい。

5年生 「TOKIWAオートメーション工場」

大きな工場へ見学に行きました。

体が震える様なものすごい音でたくさんの機械が休みなく動いているのに驚きました。

でも、よく見ると、どれも、規則正しく、スタートからゴールまで動いて行くのです。

ベルトコンベアは、流れる様に、ピストンはカタンカタンと2拍子で、大きな歯車と小さな歯車はゆっくり、速くかみ合せて小さなネジ達は、大きな機械を支え、

さあ、TOKIWAオートメーション工場で、力強く作業が進行し始めました。いったい何ができ上がるのでしょうか。

6年生 「海そしていなずま」

表現学習《鋭い感じの動き》を生かして、運動会団体演技に発展させました。

鋭い感じ「いなずま」を強調するために、運動の出発(はじめ)としておだやかな海を、運動の終止(おわり)として、

ヨットの浮かぶのどかな海を表現します。

○「ヒタヒタヒタ」太陽に輝く広い海原

○空にはあやしい雲がわき出し、次第にうねりが大きくなる。

○遠くで雲雷がする。海は大荒れ、岩にぶつかっては、砕け散る波しぶき。

○「ピカッ、ピカッ、ピカピカ」いなずまがかかけめぐる。指先、視線を生かして、直線的な動きで表現します。

(埼玉県浦和市立常盤小学校)

⑥ プログラムの説明をつける
種目の狙いを解説してあるプログラムが全
体の中で35ケースあった。残念ながら、まだ

少数例にとどまっているが、こういう学校の
運動会なら見学に行きたいという感じのする
ものを、2校だけ紹介しておく。

順番	学年	種目	演じる技名	練習から体育会までの様子・見どころ・演技の解説
1	4年	走	パワーでとばせ	80メートルをオープンコースで力いっぱい走ります。同じくらいの力の友だち同志で走るので、少しも気をぬくことはできません。どのように走れば速いか、しっかり考えながら練習しました。みんな全力をつくします。大きな声で応援して下さい。
2	3年	競遊	ボールやあい	往きは2人でフラフープの中に入りボールをけていきます。帰りはボールをフラフープの中に入れて引いてきます。2人が仲よく力を合わせないとボールがはずれてしまいます。さあ、ボールはついてくるでしょうか。
3	1年	走	まっすぐはしろう	30メートルのコースをゴールまでまっすぐ走ります。「よいい」の合図で左右の腕をふり替えるスタートのやり方を何度も練習しましたが、きょうは、うまくできるでしょうか。転んでもなかなか最後まで力いっぱい、がんばれ、がんばれ。
4	5年	競遊	ひろげよう友だちの輪(和)	新体操にヒントをえて、やってみたのですが、以外とむずかしかったです。みんな仲よく、友だちの和をつくりましょう。
5	2年	ダンス	青い海・白い波 虫さん音頭	青い海、白い波は、波のうちよせる感じを表したステキなダンスです。これからの季節にぴったりです。虫さん音頭は、ミツバチ・ちょうちょ・カブト虫・トンボ達の楽しいお祭りです。虫さん、用意はいいですかさあ、みんなでなかよくおどりましょう。
6	6年	競遊	野こえ山こえ	各色から3人ずつ9人で走ります。野あり、山あり、いろいろな障害をのりこえて、3人そろってゴールします。力を合わせてがんばります。チームワークがとれているところをみてください。
7	4年	ダンス	エース・オブ・ダイヤモンド なかよし音頭	4年生のダンスです。エース・オブ・ダイヤモンドは、男子女子で軽やかにおどるフォークダンスです。むずかしいポルカステップはできるでしょうか。仲よし音頭は手拍子・足拍子で楽しくおどります。どうぞ手拍子をして見てください。
8	全		応援合戦	1年生から6年生まで全員で応援します。体育会を盛り上げようと、みんなで心を合わせて応援します。がんばれ赤！ まけるな黄！ フレフレ緑！
9	3年	ダンス	バンブーダンス	竹を持つ人とその上をとぶ人の両方の調子が合わなければ、うまくとばせん。竹で足をはさんだり、とびすぎてつかれてすわりこんだりしたこともありましたが、みんないっしょうけんめいがんばりました。うまくできたら拍手をお願いします。
10	5年	走	風を切って	2チームに分かれてリレーをします。風を切って気持ちよく走りたいのですが、風が強すぎてこまります。バトンタッチがむずかしいです。

順番	学年	種目	演技名	練習から体育会までの様子・見どころ・演技の解説
11	1年	ダンス	どんどこ あばれじし	ウォーウォーという勇ましいかけ声とともに、まといを持って登場です。1クラス3グループ、1年生全体で9グループのまといをつくります。中心のしし頭と、まわりの人の呼吸が大事です。みんなで力を合わせてがんばります。小学校に入って、初めてのダンスです。ゆっくりごらん下さい。
12	2年	競遊	うちゅうたんけん	今や本格的な宇宙時代の幕明け。この子たちが大人になる頃には、広大な宇宙を旅することができるようになるでしょう。そんな夢を乗せてロケットがとび立ちます。3人の豆飛行士達がロケットに乗りこみ宇宙を航海します。途中では、いん石を乗り越え火星・土星を探索し。そして再び地球へひきかえしてきます。
13	6年	表現	組体操	私達は、これまでにいろいろな体操やゲームを学習してきました。その成果もあって、こんなにたくましくなりました。今年は、さらに自分の持っている力を出しきろうということで、組体操にチャレンジします。ブリッジ・扇・タワーなどを作ります。私達の努力の成果をゆっくり御覧ください。
14	3年	走	パワーゼンかい	2年生までは直線でした。今年は、いよいよトラックを使って走ります。コーナーをスピードを落とさずに走れるように練習してきました。全力でがんばりますので応援してください。
15	4年	競遊	冒険ジャングル	アフリカのジャングル、アマゾンのジャングル。大蛇がいます。大トカゲもいます。まだ、まだ、何がでくるかわかりません。仲間と助け合って、すばやく通りぬけましょう。ふたりしっかり手をつないでおかないと、ホラ、すぐうしろにライオンが。
16	2年	走	はしれ・はしれ	いつも元気いっぱい二年生です。1年生の時より、まっすぐ走ることもじょうずになりました。今年は、スピードを落とさずに最後まで全力で走りとおすことを練習しました。
17	5年	ダンス	自然の威力	自然はすごい力をもっています。平和な私たちの生活も思わぬ力でふっとばされてしまいます。そのこわさがわかりますか。
18	1年	競遊	たまいれ	かごの高さは、およそ3メートルです。力いっぱい投げても、なかなか入りませんが、あきらめずに何回も何回も挑戦します。それだけに自分の投げた玉が入った時の喜びはひとしおです。そして、入った玉をみんなで数える時のどきどきする気持ち、さあ、最後の一つを今年は、どのチームが数えることになるでしょう。
19	6年	走	三色対抗リレー	各色2チームずつで、6チームが競走します。得点は一番から6・5・4・3・2・1となります。女子から男子の順に走ります。クラウチングスタート・バトンタッチ・手のふり方などがきちんとできているでしょうか。小学校で最後の体育会です。力いっぱい走ります。しっかり応援してください。
20	全		ジャンカ 大波、小波、ザンブリコ	1年生から6年生までが、いっしょになってジャンカの曲に合わせて、かろやかに(?)ステップをします。大波、小波ザンブリコは、各グループ対抗の演技です。小波の時には、足をすくわれないように、大波の時は波をかぶらないようにがんばります。

(福岡県福岡市立千代小学校)

◇開会式(9:00)

- 1.入場 2.整列 3.一同礼 4.開会のことば 5.国旗掲揚 6.優勝旗返還
7.校長あいさつ 8.育友会長あいさつ 9.児童会長ちかいのことば 10.運動会の歌斉唱

◇演技(午前の部)

回	種別	演技名	演技者	指揮者	見どころ
1	体操	美山の準備体操	全校	近藤	朝の持久走の時に言う体操を全員でやります。音楽に合わせて正しくきれに行います。
2	徒競走	80 m 走	3年	大同	伸び盛りの3年生。入学当時と比較してみると格段の成長が見られると思います。もうお母さんより速く走れるのでは……。
3	徒競走	50 m 走	2年	岡田	元気いっぱいの2年生が、ゴールをめざして力走します。昨年と比べて走り方も、たくましさを感じられませんか。
4	リズム	ボール体操ライディーン	1年	梅田	ボールを使った新しい体操です。リズムカルな曲に合わせて、いろいろな動きをご覧ください。
5	徒競走	100 m 走	6年	桑山	小学校最後の徒競走です。クラウチングスタートで100mを全力で走ります。6年生の力強い走りをごらんください。
6	徒競走	80 m 走	4年	柘	4年生165名が、ゴールをめざして全力で走ります。力強い走りに、ご声援ください。
7	体操	輪の体操	5年	榊原	初めて取り組む輪の体操です。失敗もあると思いますが、いっしょうけんめい演技します。どうぞ輪の美をごらんください。
8	徒競走	50 m 走	1年	石塚	かわいい1年生が、ゴールめざしていっしょうけんめい走ります。大きな声援をお願いします。
9	ダンス	ビューティフルライバル	2年	長谷川	なわとびを使った新しいダンスです。軽快なリズムに合わせて動き回る子ども達をご覧ください。
10	徒競走	100 m 走	5年	都築実	5年生が100mをクラウチングスタートで走ります。今年は、新記録が出るでしょうか？
11	リズム 体操	キン肉マンマーチ他	3年	続木	テレビの人気者、キン肉マンをマーチにしました。軽快なリズムにのって動く子どもたちをご覧ください。
12	ダンス	逢妻音頭	5・6年 (女)	清水	今年できたばかりの逢妻音頭を5・6年生女子全員が踊ります。逢妻地区の“和”を願って、いっしょうけんめい踊ります。
13	競遊	来年度入学予定者かけっこ	60年度 入学 予定者	堀	1年生になる日を楽しみに待っている子どもたちが元気いっぱいに走ります。ころばずに最後まで走れるでしょうか。
14	リレー	通学団対抗リレー(予)	選手	乙部	通学団ごとに、1年から6年まで6人の選手でチームを編成します。予選を勝ち抜き、決勝に出場するチームはどこでしょう。
15	リレー	地区別対抗リレー(予)	選手	都築芳	20代、30代以上、各々男女2名の8名で地区の名誉をかけてがんばります。タイム順に上位6チームが決勝へ進出します。

◇演 技 (午後の部)					
回	種 別	演 技 名	演技者	指揮者	見 どころ
16	演 奏	トランペットドリル	5・6年 部 活	都築実	軽快なリズムによって、「ロマンティックは止まらない」 「あの娘とスキャンダル」等をドリル演奏します。
17	※ 応 援	応 援 合 戦	全 校	梅 村	全校の子どもが紅白に分かれて、リーダーの指揮の下に 応援し合います。子どもたちが工夫した応援を見せてく れます。
18	体 操	棒 体 操	4 年	兵 藤	棒を使ってバランスをとったり、体を柔らかくしたり、 腕の力を強くします。棒を使ってのいろいろな体操をご 覧ください。
19	体 操	組 体 操	6 年	柴田昭	6年生150名が、心をひとつにして組体操をおこないま す。練習の成果を発揮して、力づよい集団美をめざしま す。
20	※ 競 遊	玉 入 れ	1・2年 お年寄	光 岡	低学年の子どもたちにもじって、お年寄の方たちもハッ スルしてがんばられます。ご声援ください。
21	※ 競 遊	つ な ひ き	3~6年 (女)	杉	一本の綱を力いっぱい引き合います。今年はこちらのチ ームに軍配があがるでしょうか。応援をおねがいします。
22	※ 競 遊	く す 玉 わ り	3~6年 (男)	柴田昭	3年生以上の男子が紅組と白組に別かれて、帽子とりと くす玉わりをします。勝利めざした勇ましい姿をごらん ください。
23	競 遊	ホ ー ル イ ン ボ ー ル	育・栄・職	P 長	ドッチボールを竹であやつり、所定のまるの中へ入れて 旗をまわってきます。ボールがいうことをきいてくれる か心配です。
24	※ 競 遊	大 玉 お く り	全 校	野々山	全校児童と職員による紅白対抗のゲームです。気持ちを 一つにして大玉を送ります。ご声援ください。
25	※ リレー	紅 白 対 抗 リレー	選 手	宇 井	紅白チームより足に自信のある代表が出て走ります。1 年生から6年生までがチームのために力を合わせて頑張 ります。
26	リレー	地 区 別 対 抗 リレー (決)	選 手	都築芳	予選タイム上位6チームです。今年はこの地区が栄誉 を勝ち取るでしょうか。声援をお願いします。
27	リレー	通 学 団 対 抗 リレー (決)	選 手	乙 部	今年はこのチームが勝つでしょう。予選を勝ち抜いた6 チームが、優勝をめざして走ります。
28	体 操	美 山 の 整 理 体 操	全 校	清 水	美山独自の整理体操です。簡単なリズムによって行い、 体の調子をととのえます。

※印は得点種目

◇閉 会 式 (15:30)

1.整列 2.成績発表・表彰 3.校長あいさつ 4.来賓祝辞 5.児童会副会長反省のことば
6.校歌斉唱 7.国旗降納 8.閉会のことば 9.一同礼 10.退場

(愛知県豊田市立美山小学校)

学校としての取り組み方

たまたま数校から、運動会を行うにあたっての実施計画案が送られてきた。それぞれの学校ごとにこうした取り組みを行っているであろうが、より充実した事例として、栃木県下都賀郡壬生町立睦小学校と神奈川県平塚市立豊田小学校の計画案を資料1、2のかたちで巻末に紹介させていただいてある。

いずれにせよ、調査結果に表れた運動会の姿を端的にまとめてしまえば、教育的な配慮は行き届いているものの、学校行事につきものの堅苦しさが一層増してきている。種目の内容や会場装飾などが華やかになってきている印象はあるものの、もともと運動会の盛り上がりを演出したのは、観客の数とその視線を一点に集めての白熱したレース展開であった。そうした意味から言えば、平日開催がふえてきているという傾向とも合わせて、ひところのような爆発的な盛り上がりには欠ける地

味な運動会が各地で展開されていることが、想像される。

入学式、卒業式、そして遠足などの学校行事の中で、この運動会は地域ぐるみのお祭り気分にも似た開放感を一つの特徴としていた。子どもたちにとっては、学校生活の一つのアクセントとして力の限り、声の限り、運動会にそのエネルギーを注いでいたのではなからうか。

さまざまな条件の変化から、運動会の伝統的なスタイルを保てなくなってきたという事情があるのだろう。とすれば、思い切って運営を子どもたちに任せ、集団運営の力量を高める契機とする。あるいは年間を通して仲間づくりをし、それを基盤とした対抗戦を仕組むなど、子どもの側に立った発想の転換が望まれてくる。

※おことわり：本文中に使用した写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。